

他院からの CGP 検査受け入れについて

(地域連携型がんゲノム医療支援のご案内)

成田赤十字病院
2026 年 6 月 25 日版

成田赤十字病院では、地域におけるがんゲノム医療の均てん化を目的として、2026 年 7 月より地域医療機関からの包括的ゲノムプロファイリング (CGP) 検査依頼の受け入れを開始しました。

紹介元主治医の先生との連携を重視し、検査実施および結果解釈支援を担当いたします。治療方針については、地域連携の中で共有しながら最適な診療につなげてまいります。

他院から当院へのがん遺伝子パネル (CGP) 検査依頼フロー

① 必要書類の準備

紹介状 (診療情報提供書・検査依頼内容を含む) に加え、当院ホームページより以下の書式をダウンロードいただき、可能な範囲で事前記入のうえ外来当日にご持参ください。

- 書式 1-1: 適格性確認票
- 書式 1-2: 患者情報シート
- 書式 1-3: 家族歴問診票
- 書式 2-1: FoundationOne 説明同意書 (該当検査の場合)

※書式 2-1 については、事前署名済みの場合、当日の手続きが円滑となります。

② 外来予約 (地域医療連携課経由)

当院「遺伝子診療科外来 (木曜日)」を、地域医療連携課経由でご予約ください。
ご予約方法の詳細は地域医療連携課までお問い合わせください。

【予約枠】11:00 / 13:00 / 14:00

【対応】遺伝子診療科医師、認定遺伝カウンセラー

診療情報提供書は、事前に FAX にて地域医療連携課へ送付をお願いいたします。

③ 病理検体の送付

病理検体での検査をご希望の場合は、受診 1 週間前までの送付にご協力をお願いいたします。事前評価により、その後の検査が円滑となります。

【送付物】

(送付宛先:地域医療連携課 ※院内では病理部 小川真毅(Dr)宛)

- 病理検体
- 病理診断レポート写し
- 既存の遺伝子検査結果写し
- 診療情報提供書コピー
(患者情報照合のため)

※血液検体での提出をご希望の場合は不要です。

④ 遺伝子診療科外来受診

患者さんにご来院いただき、検査説明および同意取得を行います。

⑤ 条件を満たす場合:当日出検

事前に検体送付があり、検査条件を満たしている場合は当日出検を行います。

【検査費用(すべて保険適用)】

- 検査費用:約 44 万円 (3 割負担:約 13.2 万円)
※高額療養費制度適用時は自己負担軽減があります。
-

⑥ 検体評価が必要な場合:後日出検

事前検体送付がない場合などは、病理検体確認後(約 1 週間)、再度外来受診いただき出検となります。

⑦ 検体不足時

必要に応じて、リキッドバイオプシー(血液検体)への変更を検討いたします。

⑧ 結果返却(約 1~2 か月)

検査会社の進捗状況により前後しますが、概ね 1~2 か月後に結果返却となります。

⑨ エキスパートパネル

千葉県がんセンターとの合同エキスパートパネルにて、専門的な結果解釈および治療方針の検討を行います。

※ご希望があれば、紹介元主治医の先生も Web 参加可能です。

⑩ 結果説明

患者さんに当院遺伝子診療科外来を受診いただき、結果説明を行います。

【結果説明費用(すべて保険適用)】

- 約 12 万円 (3 割負担:約 3.6 万円)
※高額療養費制度適用時は自己負担軽減があります。
-

⑪ 紹介元医療機関への結果報告

ご紹介元の先生へ結果をご報告いたします。

治療方針については地域連携の中で共有し、最適な治療につなげてまいります。

紹介元医療機関の先生方へのお願い

患者さんへ以下について事前説明いただけますと、手続きが円滑となります。

- 検査適応について（書式 1-1 確認）
 - 検査内容および費用について（上述）
 - C-CAT への臨床情報登録（匿名化情報が国のデータベースへ登録されること）
-

病理検体について

生検検体・手術検体いずれも対応可能です。

可能であれば、

- パラフィンブロック(HE 標本添付)
の借用をご検討ください。

※提出量によっては検体を消費する可能性があります。

ブロック貸出が難しい場合は、未染色スライド(コートあり・4~5 μ m)でも対応可能です。

【目安】

- 腫瘍含有量が多い場合:20 枚程度
- 腫瘍含有量が少ない場合:30 枚程度

あわせて、以下もご提出ください。

- HE 標本
 - 病理診断レポート写し
 - 既存の遺伝子検査結果写し
(例:Amoy、PD-L1 等)
-

【担当】

遺伝子診療科 宇津欣和(腫瘍内科) 寺田二郎(呼吸器内科) 小川真毅(病理部) 宇津野恵美(認定
遺伝カウンセラー)